



2020 現業闘争

支部団体交渉が行われる

2020年11月2日(月)第3庁舎16階会議室において、2020現業統一闘争の団体交渉が行われた。技能・業務職員の新規採用や欠員補充、車両の確保に関する話に重点をおき、交渉がなされた。

冒頭、環境局長から、先月、中原生活環境事業所職員が新型コロナウイルス陽性となった報告を受けて緊張した。これから寒い時期になると新型コロナウイルスが猛威を振るう恐れがあり、インフルエンザの季節とも重なる大変な時期となるので、清掃支部の皆様とともにこれ乗り越えていきたいという挨拶があった。また、支部長から新型コロナウイルスへの対応については現業・非現業関係なく労使一体で取り組むべき課題と認識しております。引き続き対応を協議しながら乗り越えていきたいのでよろしく願いますとの挨拶があった。

話は要求項目に対する交渉に移り、当局の1次回答に対して支部から再質問する形で交渉がなされた。まず、廃棄物行政の直営堅持について、当局から川崎市 の財政状況を鑑みて可能な範囲で諸経費のスリム化を図ると回答されたことを受けて、支部からは人件費を削るという意味かとの質問を行った。これに対して当局側から廃棄物処理事業を安定的に運営していくことを前提に、スリム化が可能な範囲については支部と協議しながら進めていきたいとの回答を受けた。次に技能・業務職員の新規採用について、当局から業務の継続の観点からも人材確保が必要との認識はしており、資格要件については受験者拡大のため一部見直しが必要との意見を総務企画局に



川崎市職員労働組合
清掃支部
発行
川崎市川崎区東田町5-1
市労連会館4階
電話 044(222)5906
発行責任者 渋谷 勝美
編集責任者 清水 麻之



清掃支部ホームページ
QRコード





挙げていると回答があった。これに対して支部から資格要件のどこについて見直しが必要かと質問を行い、当局から大型特殊免許については必要な職場が限られていることから撤廃してもよいとの意見を挙げた。回答がなされた。話は欠員補充に移り、当局から欠員状況については把握しており、また、正規職員及び同職種で配置するべきと考えています。現在、関係部局と調整をしておりますので今しばらくお待ちいただきますようお願いいたします。また、今後、突発的な欠員の発生に関する諸課題については引き続き貴支部と協議してまいりますのでよろしくお願いますとの回答を得た。また、災害対応のための車両確保については、当局から昨年の台風19号の対応に当たり、強制圧縮車や粗大車が有効な車両であるとの認識をしております。回答は、し尿・浄化槽の車両も通常業務がある中、内部捻出で災害発生翌日から水があふれた公園の対応などにあたったが、し尿・浄化槽車両の必要性について認識はあるかと質問を投げかけた。当局からは、し尿浄化槽車両による災害対応については把握している。引き続き職場のご意見を伺いながら何かを検討していくとの回答があった。軽ダンプの車両配置について、支部はステーション方式から個別収集への移行が増えるなど市民ニーズの高まりを受け必要な車両を配置するべきと要求し、当局からは各生活環境事業所から集積所の状況などを把握しながら支部局で協議しながら適正数を配置していくとの回答がなされた。支部から次年度以降、普通ごみが委託化される大型集合住宅で資源集団回収の滞りにより資源集団回収するべき資源物をやむを得ず普通ごみとして収集して

直営をやろねる

本庁分会

田中 絵理
(たなか えり)

仲間達
(358)

いるケースについて、委託後の取り扱いをどうするか質問を行い、当局からは出来る限り資源集団回収の拡充を促していくとの回答がなされた。また、粗大ごみのふれあい収集について、件数の増加によって推進業務が圧迫されつつある現状が話された。(執行部)

平成28年度に入庁し、環境局生活環境部廃棄物指導課で3年間許認可業務を担当し、同じく生活環境部減量推進課へ異動し現在2年目です。私の勤務経験はただ環境局のみですが、環境局の職員の方々は優しい方ばかりで、他局の方からも「環境局は評判が良い職場だよね」と声をかけていたのだいたこともあり、環境局に配属されて本当に運が良かったとつくづく感じています。仕事をするうえで一番大切なことは人間関係だと思っっているので、困ったことやわからないことを何でも相談しあえる今の職場には感謝しありません。

- ①年齢、②入庁年度、③分会役、④職種、⑤業務内容、⑥趣味、最近ハマっている事

新型コロナウイルス感染

隣にいる仲間を想う

在日外国人と日本人は国籍・

民族を超えていけるか

第28回

林慶一

●社会人一年生はたして通用しているのか

ヨンスがこの四月から勤

めている「優光堂プロセス

株式会社(優プロ)は、製

版会社といわれるところ

で、映画のポスター、飲料

会社のポスター、メーカー

などの製品パンフレットや

日用品などの通販カタログ

グ、新聞の折り込みチラシ

からポケモンカードのよう

なことも向けの遊戯カード

まで、印刷物を刷る元とな

る製版フィルムを作る会社

です。この製版フィルムが

ということになります。色

補正や画像修正など、現在

ではある程度パソコンで誰

でも簡単に出来てしまいま

すが、当時は専門的な技術

と特殊な機器が必要でし

た。「優プロ」は総務部、営

業部、制作部、校正部の四

つの部署に分かれていまし

た。

ある日、久保総務部長に

呼ばれました。新入社員の

ヨンスに部長が一体どんな

仕事があるのかと疑問に思

いましたが、一か月の研修

期間がまもなく終了し、五

月から正式に配属が決まる

はずなので、この話だな、

と予想しました。ヨンスは

入社面接で「人と会う仕事

がしたい」と営業部を希望

していました。製版会社の

営業というのは、この会社

に限って言えば、いわゆる

飛び込みの営業のような新

規開拓はほとんどなく、従

前の得意先の宣伝部の担当

者や広告デザイナーと共に

販促ポスターや雑誌のカラ

ーページなどの仕事をとっ

てくるというものでした。

「失礼します」と恐る恐る

部長室をノックし、入って

いきました。すると久保総

務部長と中田総務課長のほ

かに竹本営業部長と島崎制

作部長、そして入社面接の

ときの面接官だった足立さ

むことなく一丸となって引

き続き良好な職場環境の醸

成に努めたいと存じます。

(写真・飛沫遮蔽シート

と体温計)

に労使一体となって対処し

ました。

職員の感染防止、健康管

理についても、飛沫拡散防

止シートの設置、体温計を

常設し出勤時の検温を実施

しています。ここまで感染

者を出すことなく来れたの

はそのような取組もさるこ

とながら、日頃からの仲間

同士の良好なコミュニケーション

ション、雰囲気作りで免疫

力も高かったのかなと自画

自賛しているところであり

ます。

今後世況の変化にひる

んもいました。社長はいま

でした。役員勢ぞろ

いという感じでした。緊張

しながら要件を聞くと、竹

本営業部長が、「キム君、日

本名はあるか？」と聞いて

きたのです。話を要約する

と、「キム君は研修期間とて

も真面目に取り組み、研修

担当者や役員の中でも特に

評判が良かった。ただ一つ

難を挙げると、キム君は外

国人だから営業でのやりと

りの中で、お客さんが名前

を呼びづらい、あまりいい

印象を与えない、従って日

本名じゃないと営業部に配

属させられない」という話

でした。

シヨックでした。いや、

正直にいうと「やっぱり」

という感じもありました。

思わず足立さんの顔を見ま

した。足立さんはつらい表

情をしていました。

足立さんは総務部の人事

係長で新入社員研修の担当

者でもありました。ヨンス

は足立さんの言葉で、「優

プロ」に入ったようなもの

です。「外国人を採用する

という試みは初めてだが、

この出会いを大切にした

い。キムさんがウチで働く

ことになれば、キムさんも

成長すると思うし会社も成

長できると思う」という言

葉は、入社たった一か月で

崩されました。自分なりに

頑張ってきたのに...という

思いでした。でも足立さん

のつらそうな表情を見て上

司に何か言い含められてい

るのだなど直感しました。

しかしヨンスはもう日本の

名前を使いたくありません

でした。しばらく考えたの

ち結局ヨンスはこの場で結

論を出さずに、後で足立さ

んとゆっくり話してみよう

と思ひ、返事を保留しま

す、と答えました。

(次号へ続く)

分会だより

王禅寺分会

No.201

こんにちは王禅寺分会で

す。総勢65名の仲間がごみ

焼却関連の仕事をしていま

す。

2020年、昨年のように

な大災害に遭遇することも

なく通常業務にじっくりと

取り組めるよう願ってスタ

ートしたのもつかの間、全

世界での新型コロナ感染拡

大という新たな局面にぶち

当たった年となりました。

外出自粛、リモート勤務

の影響で王禅寺処理センタ

ーも一般家庭ごみの搬入量

が増え、通常とは違う状況

が

今

後

も

世

況

の

変

化

に

ひ

る

に

ひ

る

に

ひ

る

市職労ソフトボール大会準優勝!!

2020年9月19日と

10月17日に多摩川河川敷・

等々力グラウンドにおい

て、第51回市職労ソフトボ

ール大会が開催された。

大会には、8支部・9チ

ームのエントリーがあり、

コロナ禍の中で「新しい生

活様式」の中の文体活動

を」と銘打ち、ソーシヤル

ディスタンス・マスク着用

等に配慮しながら行われ

た。

清掃支部からは宮前分

会・多摩分会の合同チーム

が参加をし、見事準優勝と

いう成績を収めた。決勝戦

は予選トーナメントで一度

勝利した財政支部Bとの再

戦となり、0対6の劣勢か

ら同点に追い付くも、あと

一步及ばずサヨナラ負けと

なった。